

情報福祉マネジメント学科の卒業論文・研究に関するルーブリック

評価項目	5	4	3	2	1
論文の基本的構成	文章レイアウト、図表の表記、文字サイズ等を含めた全体が論文の体裁として完成されている。	表記等において一部修正が必要ではあるが、図表の様式を含め論文としての正しい体裁が整っている。	論文の基本構成や文章の様式に従い、書かれている。	基本となる章構成はできているが、文章や図表の表記様式が整っていない。	論文として求められる基本的な構成や表記様式になっていない。
研究背景に関する記述	先行研究やデータを示しながら、研究背景について理論的かつ明確に記述できる。	先行研究を挙げ、根拠を示しながら研究背景について記述できる。	根拠は乏しいが、研究背景について概ね説明ができる。	記載されている内容が省略されすぎていて、背景の説明として不十分である。	記載されている内容が研究の目的と関連性がなく、意味を成していない。
研究目的に関する記述	研究背景を基に、十分な理論的説明に加え、目的に沿った仮説を明確に記述できる。	研究背景に絡めながら、研究の目的と意義について記述できる。	研究の目的について、意義を含めた記述ができる。	記載されている内容が省略されすぎていて、目的の説明として不十分である。	記載されている内容が研究目的として意味を成していない。
研究方法に関する記述	研究方法(手順や調査・実験内容等)について追試可能なレベルで記述できる。	調査・実験概要などが明確であり、実施する意図が理解できるように記述できる。	研究方法や手順などについての基本的な記述ができる。	記載されている内容が省略されすぎていて、方法論の説明として不十分である。	方法に関する記述がない。
研究結果に関する記述	調査や実験結果を整理し、補足を付加するなど理解しやすい形式で記述できる。	調査や実験結果を図表などを用いて整理し、記述できる。	調査や実験結果がそのまま記述されている。	記載されている内容が省略されすぎていて、結果の説明として不十分である。	結果に関する記述がない。
考察・結論に関する記述	結果を基に他の先行研究との比較など、根拠を示しながら客観的かつ理論的に記述できる。	結果を基にある程度客観的な推論が記述できる。	自らの主観的な推論に留まってはいるが、結果に対する解釈が概ねできる。	結果を繰り返し記述しているだけである。	単なる感想を記述している。
図表と文献に関する記述	図表を的確に活用し、全てが正しく表記できる。論文としての引用方法、引用箇所と文献との対応、引用・参考の分け方など全てが正しく表記できる。	図表の各要素が正しく表記されており、分析やコメントが概ね記載できる。文献の表記方法について修正は必要ではあるが、正しい体裁が整えられている。	図表を構成する各要素について概ね不備がなく、説明も記載されている。文献の表記方法について修正は必要ではあるが、ある程度の体裁が整えられている。	図表を構成する各要素・図表の説明等に不備がある。文献の表記方法が全く正しく記述されていない。	必要な図表が用いられていない。参考・引用文献が記述されていない。
口頭発表の基本構成	研究内容が申し分なく整理されており、時間配分も的確で、十分な説明ができる。	内容整理や時間配分などで一部不備が認められるが、概ね良好な内容を発表できる。	内容整理や時間配分で疑問は感じられるが、口頭発表の体を為している。	内容整理や時間配分が良く考慮されておらず、手直しが必要と考えられる。	内容整理や時間配分において大いに不足が有り、口頭発表の体を為していない。
スライドの内容・体裁	要素の一つ一つに留意し、視覚効果を十分に考慮したスライドを作成できる。	ところどころの要素で手を加える必要はあるもの、配慮を加えたスライドを作成できる。	見やすさ、わかりやすさへの配慮が不足しているが、ある程度の内容が保持されている。	見やすさやわかりやすさということで配慮不足が目立ち、手直しが必要と考えられる。	「作れば良い」といった印象が強く、見やすさ、わかりやすさへの配慮が全くできない。
発表の姿勢と質疑応答	発表内容を十分に押さえ、説得力のある表現と話し方であり、質問に対して的確に回答できる。	発表内容を押さえているが、表現や話し方に不十分な所がある。質問への回答は概ね的確にできる。	発表内容はまずまずであるが、表現や話し方、質問への回答で不足はあるものの何とか対応できる。	発表内容、表現、話し方、質問への対処において不備がある。	発表内容が充分頭に入っておらず、表現や話し方、質問への対処などが全くできない。